

ミヤマチャバネセセリ

兵庫県：要注目

Pelopidas jansonis

環境省：

種の概要

前翅長16～22mm程度。翅の表面は茶褐色で、前後翅ともに白色斑を有する。翅の裏面は黄褐色で、前後翅ともに白色斑を有する。主に山地の草地や湿地に生息し、幼虫はイネ、チガヤ、ススキなどを食べる。本州の暖地では年多化性で、成虫は5月～10月にかけて見られる。



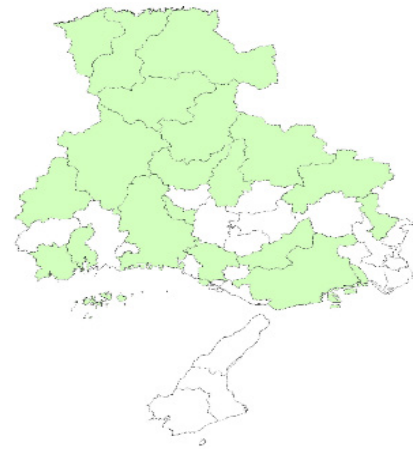
写真提供：近藤伸一

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、芦屋市、猪名川町、加古川市、三木市、多可町、姫路市、神河町、福崎町、相生市、赤穂市、宍粟市、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少

特記事項

淡路市を除く県内に広く分布し、旧33市町に記録はあるが、ほとんどが1980年代以前のもので、近年ほとんど見ることができない。良好な草原環境の減少が原因と考えられる。

保護上の留意点